

平成 22 年 5 月 26 日現在

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2007～2010

課題番号：19202011

研究課題名（和文） 東アジアにおける文化交流と知的システムの近代的再編成

研究課題名（英文） A Modern Reorganization of Cultural Interaction and Intellectual System in East Asia

研究代表者

鈴木 貞美（SADAMI SUZUKI）

研究者番号：60179207

研究代表者の専門分野：日本文芸・文化史

科研費の分科・細目：

キーワード：概念、概念史、概念編成、ジャンル(分野)、学部・学科制度、語彙史、近代語彙

1. 研究計画の概要

大学の学部・学科制度に代表される知的システムが日本において、伝統的制度を近代的に再編し、独自なものを形成したことを明らかにする。またそれが東アジアに伝播し、今日に至るまで過程についても明らかにする。これは文化のグローバリゼーションや地球環境問題に 대응する学問諸制度の再編に資する。

2. 研究の進捗状況

すでに日本、中国において国際シンポジウムを2回開催し、研究代表者については、中国、韓国において、本研究に関する学会、シンポジウム、その他招待講演に15回以上応じ、台湾中央研究院が先行研究の整理のプロジェクトを開始する際にレフリーをつとめるなど、概念組織の近代的再編成について研究機運の醸成に重要な役割を果たしている。また研究成果の報告書として論文集を発行しており、順調に研究を推進している。

3. 現在までの達成度

本研究に関する基礎概念について日中韓の研究者が次々に着手しており、また既存の成果とあわせ整理してゆく段階にまで進んだ。本プロジェクトの成果報告をまとめ、諸外国の概念史研究成果のデータベースをつくれれば、所期の目的は達成する。

4. 今後の研究の推進方策

5年間の成果をまとめ、研究方法を緻密化してゆく。とりわけ個別研究との相互推進の方法を示し、また第二次大戦後の再編成

についてのアプローチを開始する。研究代表者の研究機関では、新規の共同研究を開始する。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計5件）

“How would you define Japanese Modernism?” Interview with Suzuki Sadami by Raquel Samara, *Dialogia* 2009 in Portugues, pp.5～28

鈴木貞美 「学芸概念の近代的再編をめぐって—『文学』を中心に」、顧也力主編『東アジア地区日語教育日本学研究前沿文存』、華東理工大学出版社、2009、pp.2～16

鈴木貞美 明治期日本における「自由・平等」—福沢諭吉、西周、加藤弘之をめぐって、日本研究、2009、pp.377～392

鈴木貞美 「和辻哲郎の哲学観、生命観、芸術観—『ニイチェ研究』をめぐって」、日本研究 第38集、2008、pp.314～348

鈴木貞美 モダニズムと伝統、もしくは『近代の超克』とは何か、竹村民郎・鈴木貞美編『関西モダニズム再考』思文閣出版、2007、Pp.385～569

〔学会発表〕（計5件）

鈴木貞美、基調講演「『日本文学』の成立と日本の人文学、三つの特徴」、中日韓朝文学研究シンポジウム、2009年8月23日、延辺大学（中国）

鈴木貞美、東アジア近代における概念の再編成について、「概念史からみる東アジア」、2009年9月25日、翰林科学院（韓国）

鈴木貞美、日本における民謡概念をめぐって、国際シンポジウム「近代東アジアにおける鍵概念－民族、国家、民族主義－」2009年11月25日、中山大学（中国）

鈴木貞美、“Liberty” and “Equality” in Meiji Japan、政治社会概念史研究グループ・国際シンポジウム、2008年9月18日、ソウル大学校（韓国）

鈴木貞美、東アジアにおける学芸概念と概念編成の歴史－その研究法、人間文化研究機構連携プロジェクト「文化の往還」シンポジウム「東アジアにおける近代諸概念の生成と展開」、2007年10月16日、北京大学

〔図書〕（計4件）

シンポジウム報告書、鈴木貞美・劉建輝編『東アジアにおける学芸概念と概念編成の歴史－その研究法』国際日本文化研究センターA4版』

鈴木貞美『日本人の生命観』中公新書、2008（生命概念の歴史的変遷と生命観の多様化をたどる）

鈴木貞美『「日本文学」の成立』作品社、2009（日本における人文学の近代的形成と特殊性を明らかにする）

鈴木貞美『自由の壁』集英社新書、2009（東アジアにおける自由・平等概念の歴史的変遷を今日までたどる一般書）

〔その他〕

<http://www.nichibun.ac.jp/research/faculty/staff1/suzuki.html>